

森林公園の平成27年度管理状況

施設所管課	観光戦略推進部観光振興課
施設管理者	森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
中期経営目標 (H27～H29)	① 利用者数を3年間で3%増加させます。 ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	自主事業の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験教室等のイベントの開催（27回、参加人数693人） ・ 平成25年3月、森林セラピー基地に認定（※県内初、平成24年1月申請） 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元商工会、農協、津幡町、エコグループで組織した「森林公園活性化津幡町連携協議会」により、地元特産の「マコモ」をテーマとしたイベントを開催 ・ 津幡町森林セラピー推進協議会と連携しPR活動を実施。 ・ 森林セラピーソサエティの公認資格（森林セラピスト）を取得するための2次試験を誘致し森林公園を全国にアピールする機会となった。（全国から16名が受験うち1名県内） ・ 森林セラピスト、ガイドの講習会の開催（36名が参加） ・ 地元ボランティア団体と連携し展示ギャラリーに展示（16回、延320日、観覧者35,610人） ・ 津幡町商工会青年部主催の当公園を会場とした森林浴リレーマラソンに協力し、公園の利用促進とPRに努めた。また、これに協賛した第1回森林セラピーウォーキングを開催し72名の参加者が森林セラピーを体験した。
② 広報活動	施設の情報提供、広報、広告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の遠足等の企画時期に合わせ森林公園の資料を配付（1,118校 富山、福井県へも発送） ・ 新聞社、テレビ、タウン誌、季刊誌等への情報提供 ・ イベント案内掲示を公民館など地元市町施設や町内ショッピングセンター等に依頼 ・ プレミアムパスポート事業に参加（フィールドアスレチック）

(2) 平成28年度における取組内容の見直し等

実施内容
自主事業の内容の見直しを行い改善や新企画を実施 親子木工品づくりの実施（新規） 万葉の草木観察会ガイドブックの作成（新規）

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H25年度 (基準値)	H26年度	H27年度	前年度比	H29年度 (目標値)		
(1) 利用者数	183,553人	195,009人	176,655人	90.6%	189,060人		
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス	98.6%	95.1%	99.0%	3.9ポイント	95.0%		
施設の維持管理	95.6%	92.8%	96.0%	3.2ポイント	95.0%		

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る対前年度増減理由>

指 標	対前年度増減理由
利用者数	三国山園地に地滑りの兆候が発生し、その調査復旧工事のため5月1日から休園したことによる。

<利用者アンケート結果（平成27年4月～平成28年3月実施 有効回答数327件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	66.0%	33.0%	1.0%	0.0%
施設の維持管理	49.0%	47.0%	4.0%	0.0%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	大型施設、トイレ、広場は常時実施 道路（遊歩道） 路面清掃を3・4・11月に実施
(2) 設備保守点検	各広場林道管理（各専門業者へ委託） 保守点検（各専門業者への委託）
(3) 植栽維持管理	草刈り 6～9月の間実施
(4) 警備	警備（夜間警備を専門業者への委託）
(5) 小規模修繕	建物等 子供の広場ピラミッド 外壁板補修 等5件 浄化槽 見晴台公衆トイレ浄化槽の修繕 等4件 動物園 タヌキ園フェンス補修 等5件 水道施設 子どもの広場入口 等6件 林道補修 津幡林道白線 2件 歩道補修 階段、木柵 等4件 その他補修 11件 園内案内看板、標識新設と補修 新設4基、補修2基 ピクトグラム（視覚記号） 7基 セラピー基地説明板 3基 テーブル・ベンチの設置（新設） 13基・21基 遊歩道の補修及び木チップの敷設 1件

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	「災害時における森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ対応マニュアル」を策定し、職員へ周知 安全衛生委員会の開催、労災防止研修会の開催
(2) 個人情報の管理状況	「森林公園管理受託業務共同企業体個人情報保護規程」に基づき管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
インフォメーションセンター学習ホール	120	0	
運動広場	28	0	
トンカチ館	0	0	
合計	148	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：円)

項目	収入額	減免額	減免理由
インフォメーションセンター学習ホール	118,950	286,320	74件：教育（学校）行事等に利用
ボート乗り場	950,700		
炊飯広場	764,520		バーベキュー炉
フィールドアスレチック	828,840	58,200	プレミアムスポーツ提示者
テニスコート	253,200		
コインロッカー	8,500		
ログハウス	108,620		
オートサイト	1,240		
テントサイト			
バーベキュー舎			
合計	3,034,570	344,520	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収入		支出	
指定管理料	116,534	人件費	79,754
利用料収入	3,035	光熱水費	8,070
その他	1,025	修繕費	25,347
		租税公課	6,891
		その他	482
合計 ①	120,594	合計 ②	120,544
収支差額 ①－②	50		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成27年4月 ～ 平成28年3月	歩道沿いにベンチを設置して欲しい	ベンチ21基を歩道沿いに新設
	園内の案内表示の拡充	案内板、標識の新設と補修（新設4箇所、補修2箇所）

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
	特になし	

8 その他報告事項など

三国山キャンプ場の一部が平成27年9月7日付け官報6612号告示番号2078号地すべり防止区域に指定。三国山キャンプ場は地すべり対策調査、工事のため平成27年5月1日から休園。
--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・従来からの「いしかわ事業者版環境ISO登録」、「石川の森林整備活動CO2吸収量認証制度」及び「いしかわ版里山づくりISO認証」に加え、石川県初の「森林セラピー基地」の認定など利用促進につながる取組みをしている。 ・ベンチを新設し、自主的なイベントを充実させ、積極的な広報活動を行っており、また、地元との連携により交流が活発に行なわれ、利用者数が増加している。 ・BGMの導入や無線LANの提供など、サービス向上に努め、アンケート調査結果も良好である。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃、林道、広場の除草等は適期に行われているほか、専門業者へ保守点検を委託するなど適切な維持管理と修繕に努めており、アンケート結果も良好であるが、雑草の成長が旺盛な時期は、遊歩道の歩行に支障をきたすことがある。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の管理技術向上のため樹木・草花研修の自主的な実施や自然体験活動指導者資格の取得、安全衛生委員会、労働災害防止研修会の開催など積極的に行ない安全管理技術の向上に努めている。 ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを充実させ、接遇や管理技術、安全管理などに技術の向上に対する前向きな取組みが評価できる。また、森林公園の自然を活かし、森林環境や生態系の保全などイベントを通して紹介するなど保育園児から高齢者まで広く地域の住民に親しまれる運営がなされている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--